

2023年度日本語教育学会秋季大会一般公開プログラム 外国人技能実習制度に求められる日本語教育 ～誰のため？何のため？～

日本では、少子高齢化等による人口減少を背景に、外国人労働者への依存度が年々高まっています。中でも、外国人技能実習生は、2022年12月末時点で、32万4,940人に上り、外国人登録者数全体の10.6%を占めています。本プログラムでは、外国人技能実習生の日本語能力と日本語学習をめぐる課題に焦点をあて、今後とりまとめが予定されている特定技能の新制度を念頭に置きながら、技能実習生に対する日本語教育はだれが担うのか、受入れ企業や地域でできる日本語学習支援はどうあるべきかについて考えたいと思います。

日時：2023年11月25日（土）10:00～12:00

会場：山形テルサ1階 テルサホール

定員：先着700名（申込不要） 参加費：無料

主催：公益社団法人日本語教育学会社会啓発委員会

プログラム

「技能実習生入国後講習の意義」

来日直後の実習生と監理団体通訳者によるコメント動画含む

栗又由利子氏（（株）きぼう国際外語学院日本語教育事業部主任講師）

「技能実習生が地域日本語教室に求めること」

藤波大吾氏（岩手地域日本語教育コーディネーター）

「送り出し国の日本語教育状況とその効果」

助川泰彦氏（東京国際大学教授）

進行・趣旨説明：内山夕輝（公益財団法人浜松国際交流協会）

Photo by photoAC ※写真はイメージです

お問い合わせ 公益社団法人日本語教育学会

〒101-0065 東京都千代田区西神田2-4-1 東方学会2F

TEL:03-3262-4291

E-mail:office@nkg.or.jp

URL:http://www.nkg.or.jp/